

☆ 芥見東自治会連合会総会 ↓ 平成31年3月24日(日) 午後7時30分
会場 芥見東公民館2階ホール

☆ まちづくり協議会活動パネル展 ↓ 2月25日 ~ 3月3日 9時 ~ 21時
メディアコス

市民運動会 皆様が参加したいものに

一芥見東自治会連合会文化部会長・仙名 幸樹
昨年10月21日(日)に快晴の下、第44回芥見東市民運動会を開催しました。大きな事故もなく、無事に終わることが出来ましたのは、体育振興会、選手集めから前日の準備、当日の運営とご尽力を頂きました支部長さんをはじめ、各役員の方のご協力の賜物です。心から、感謝申し上げます。



運動会は、天気にも恵まれ、親子の玉入れや綱引きなど微笑ましいものや、支部対抗の白熱した競技もありましたが、笑顔もあり、楽しい運動会になったのではないかと思います。支部対抗競技の結果は、優勝が東山支部、準優勝が、桐が丘・桐が丘市営支部、第3位が、大洞支部でした。

近年、当地域では、高齢化の進展が著しく、選手集めに苦勞されることが多くなってまいりました。今後の運動会の在り方について、皆様が参加しやすい形を検討していきたいと思っておりますが、地域の“絆”を強める取り組みをする知恵を、皆様方からも、広く提案していただきますよう、よろしくお願ひいたします。 □■

地域の集い 桜台カフェで友達の輪を

一桜台支部・KHさん

それって何？ 東日本大震災後の総会で、ある女性の方が、「お互い助け合える場があるといいですね」と発言。男性4人が賛同して立ち上げたのが桜台公民館での“桜台カフェ”。今年度で、7年目。

最初は、5丁目だけでしたが、他の地区にも口コミで広がりました。準備してあるお湯で、自分が入れたコーヒ一等を飲みながら話に花を咲かせるだけでしたが、歌をみんなで歌うようになり、隔週ですが、ギター伴奏者が加わって響き合う歌声となっていきました。体操・筋トレを指導者の下に行くことにもなりました。

開催は、月2回。第一土曜日と第三木曜日の10時から12時まで。20名ほどの方が参加しています。12月には忘年会をやり、参加者は28名でした。100円持って桜台公民館で友達の輪を広げませんか。 □■

老人クラブ ~雪も大切な贈り物~

一芥見東老人クラブ連合会会長・岩田 澄雄さん
老人クラブ会員の皆様には、行事等に格別のご努力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年は特にインフルエンザが大流行しており、体調には十分に注意してください。

私は、子供の頃久々野村(現高山市)で育ち、正月は雑煮が一番のご馳走であり、おやつは栗などでした。また、大雪が降ると村の人たちが、カンジキで踏んで通学路を作ってください、戦時下で物資は不足し、衣服もゴム長靴もなく、冷たい思いで登校しました。長い冬の期間を思い出します。

近年は気候も変化して温暖化となり、私共高齢者には有難く思います。だが雪も大切な贈り物であり、農作物など育てるには大切な水資源です。

先日私達老人クラブ役員で、伊勢神宮に初詣し、宇治橋を渡り長い参道の玉砂利の感触を感じました。参道には、杉、楠の木など、巨木も自然に恵まれた環境に育っているのです。自然を大切にしましょう。 □■

支部だより 若者が興味を持つ町に

一桜台市営支部支部長・早川 廣國さん

高齢化を理由に自治会活動に参加をしない、自治会の役員までもできないという現状。年間行事も連合会と共に地域の活性化、自治会員の交流、“絆”づくりを考え実行していこうとする会員さんが減少したのか？

私自身、支部長の職を一年間やりましたが、一年間は気がつかず、今回途中から支部長を引き継いだことで感じたのかもしれませんが・・・。

この場所に住んで生活している今、高齢が理由では無く、高齢化しているからこそ、会員が元気でやる気を出し、少しの協力で大きな絆が生まれ、交流ができると思います。

現実と言うほど簡単ではありませんが、皆でこの地域の在り方、活性化に力を合わせることを目標に、支部長が自治会の皆さんに説明し、理解を頂き、少しずつ元気を出していきたい。

この行動が次の支部長、自治会長にバトンタッチして続いていけば、少しずつ明るく元気な地域が変わって、若い人たちが興味を持ち、人が人を呼んでいく。そんな町にしていこうと努力していきたいものです。 □■

*「こうしては？」のご意見や話題、知恵、ご要望などを、東公民館ポストまでお寄せください

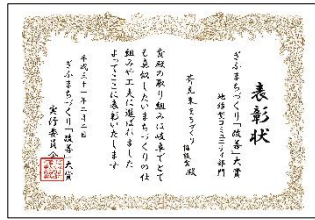
配布

大洞	4-59
東山	4-53
北山	38-353
コモ北	5-92
桜台	23-315
桜市	40-196
5棟	2-17
柏台	31-313
柏市	26-158
桐丘	23-186
桐市	6-30
紅葉	21-251
紅市	16-84
桜2P	1-17
合計	237-2124

「改善大賞」 支えあふ芥見東の活動が

一般社団法人 Do It Yourself 代表理事・東 善朗さん

私の仕事は、地域や社会の課題解決に、影響を受ける当事者が取り組むことを、研究/提案/お手伝いすることです。



地域での取組みは、直接の活動目的以外にも効果があり、それが顔の見える関係や助け合いといった、コミュニティの基となっています。例えば、地域の清掃のように同じ時を過ごすことや、寺社やお祭りに関わり「過去の住民と同じこと」をすることで、地域への愛着や誇りにつながる事が研究されています。それらは、地域を離れた若者がUターンを迷った時や、「不便」を理由に縁もゆかりも無い街に移るかを悩む時に、無視できない影響を及ぼすと考えられています。また、顔の見える関係は、防犯はもちろん、災害時の安否確認や被災後の生活の不安軽減にも役立つと期待されています。

ところが、これまで当たり前できていた地域の活動も、「担い手」と「資金」の不足により、至る所で続かなくなってきました。今回、縁あって芥見東の活動をお聞きしましたが、コミバスへの同乗や空き家活用、婚活企画などに、地元学校や企業の力も借りながら、取り組んでいるとのことでした。特に、音楽や落語などのイベントを、継続性を確保するため、ワンコイン500円で実施する姿勢は、これからの「支え合い」と言えるものです。是非ほかの地区でも真似して欲しいので、紹介させていただきたいと思います。 □■

民生委員 私にとって、サロンとは？

一芥見東民生児童委員協議会会長・蓑島 信子さん

子ども会の育成会長をやっていた時、第三月曜日に芥見東公民館にて健康相談会が開催されていました。

ひとりひとりの血圧測定と尿検査が終わると、保健師さん発案の健康体操、そして健康についてのお話と、とても楽しいものでした。その時キーボードを弾いてみえた方のピンチヒッターとしてキーボードを弾くようになりました。

そこでの実施が何年か続いた頃、芥見東公民館での開催が遠すぎると皆さんの足が遠のいていきました。これではいけないと、各支部での実施に移行していきました。それで、声をかけてくださる所へ出かけていき、手遊びと歌で楽しんでいます。会場では、みんなで大笑い、その後、お菓子を食べながらおしゃべりで盛り上がりませす。 □■

支部だより ～支部長を体験して～

一紅葉が丘支部支部長・山本 泰治さん

今まで会社人間、仕事中心の生活で、自治会活動には全く関心を持っていませんでした。しかし、私の班では、順番に自治会長を担っていくことが決められていて、今年度、その役割がくることは承知していました。それで、数年前から自治会関連資料を残し、それが手探りの役に役立つこととなりました。また、関係役員、会員の皆様のご理解とご協力により、務めることが出来ています。

この役に携わり知ったことは、やはり高齢化率(約40%強)です。役員、委員の選出、町内清掃、夏まつり、運動会等の行事への参加や役員の負担などが問題視されています。それらのことを踏まえ連合会でも、各種の取り組みをしています。

次年度、顧問として自治会に関わることとなりますが、新役員の方に少しでも協力できればと思っております。

当地域は、関市、各務原市と隣接し、地域内バス、幼稚園、学校、病院、老後施設、スーパー、各種店舗等があり、又、自然にも恵まれ、若い方の居住地として空き家を活用していただけることを願っています。 □■

防災メモ 地震！ 瞬間、とるべき行動

一芥見東自治会連合会副会長(防災士)・堀 敏彦

東南海地震は、明日にでも発生してもおかしくない状態といわれています。そこで東南海地震がこの地域を襲ったと仮定し、その瞬間にあなたの取るべき具体的な行動と、大地震のシミュレーションのごく一部を紹介します。

1. 地震発生その瞬間・適切な判断は難しい、予め

家族と話し合う。防災訓練への参加などで、とるべき行動を想像しておくことが大切。



2. 最優先に自分の命を守る・自分自身と家族の命を最優先と考えて行動。

・発生直後の行動・揺れが収まってから行動する。火元を確認する。慌てずに火の始末をする。出火したら、落ち着いて初期消火に当たる(平時、災害時消火器は必需品)。ブレーカーを落とす(通電火災の防止)。



ガラスや塀から離れる(瓦の落下、ガラス破片の飛散によるケガ、ブロック塀などの崩れに注意が必要です) □■